

第57回クォーク例会報告 - 上木 (2013年07月21日)

昨日、クォーク例会を行いました。

事前に、『ヘッドアースモデル』と『わくわくずかん』の授業についての相談をお聞きしていたので、ものを準備してゆっくり検討できたのがよかったです

【第57回クォーク例会】

日時：7月20日(土) 午前9時半～12時

場所：エコネットさばえ 1階会議室

参加者：8名

内容：

小4、小6の天体の授業(ヘッドアースモデル)

県教育研究所で紹介された天体の模型とヘッドアースモデルを比較しながら、授業方法について考えた。

子どもたちが混乱しないように、教師自身がよく整理して、伝えるべき事を精選しなければならないことが分かった。

特別支援セミナーの授業『わくわくずかん』

昆虫のシルエットクイズ、または直写を取り入れて、どのような授業を展開するとよいか検討した。

小教研での理科の発表について

坂井地区で木村先生が発表する内容を聞かせてもらった。

とても丁寧に指導し、その成果がでていることがよく分かった。

『わくわくずかん』を使った授業の例

昆虫図鑑で早引きやクイズ、植物図鑑で豆知識を授業で行う方法を紹介した。

近隣に雑草が生えていないときの野草観察の方法についても話し合った。

向山氏実践『回路』の授業

向山塾で伴先生が授業で使った実験セットや向山実践について話し合った。

8月2日の理科セミナーで、小森先生から答えをお聞きできるとの期待から理科セミナーに心が傾いている方も出てきた。

飛ぶ種の模型の作り方(トークライン8月号より)

上木の論文を読んだ参加者から質問を受けた。

今年、連載をさせていただいているが、活用して下さる方がいてうれしい。